

平成28年度 1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」だいじょうぶ賞受賞

京都市立鳴滝総合支援学校

〒616-8245 京都市右京区音戸山山ノ茶屋町9-2
TEL: 075-461-3221 FAX: 075-462-1934



鳴滝総合支援学校と防災プログラム

- ◆ 平成27年度から高等部（生活産業科）1年生が「防災学習プログラム」（全4回）に取り組んでいます。
- ◆ 「防災学習プログラム」では、地域（京都市右京区の宇多野学区）の方々にも参加していただき、地域協働活動として取り組んでいます。
- ◆ 地域では地域防災プログラムを、教職員は防災対応プログラムで研修をしています。

防災学習プログラム導入のねらい

- ・災害時の自助と共助に向けた知識理解とよりよい行動がとれるようになる
- ・災害に見舞われた時でも主体的に動けるようになり、地域の人々と共に何らかの役割を担って助け合えるようになる

指導方針

- ・現実社会の中で自分が取るべき行動や他者との関わりの中で自分にできることが何かを考えていけるような内容を盛り込む。
- ・地域（宇多野学区）・PTA・学校運営協議会・佛教大学との協働活動を通して、社会の一員としての自分の役割に気づける機会とする。

目標（平成28年度）

- ・災害に遭遇した時に見通しを持ち落ち着いて行動できる力を高める
- ・話し合って折り合いをつけ前に進んでいく力をつける
- ・自助・共助のための力を養う
- ・自分たちの望む避難所を創っていく

防災学習プログラム（H28年度）

① 9月30日 10:40-12:25	防災とは	(1)「防災かるた」を使って防災について学ぶ (2)防災袋の中身を考えよう（ワークショップ）
② 11月25日 9:45-11:30	災害時の生活を体験してみよう	(1)防災食をつくろう～アルファ化米の試食（協力：女性会） (2)応急手当ての方法を知ろう ～簡易担架の作り方（協力：右京消防署御室出張所） (3)各自持参した防災袋の中身を発表し、持ってきたもので何ができるか考えよう
③ 1月13日 13:10-14:55	生徒が行う避難所運営（初回）	(1)避難所開設（「避難所運営協議会」立ち上げ宣言） (2)役割分担と訓練（演習）（協力：PTA） 総務（管理・情報）班、物資班、食料班、衛生班、要配慮者班
④ 2月 2日 10:40-12:25	生徒が行う避難所運営（2回目）	(1)避難所を開設し、それぞれの役割を果たす ※参観者に避難者になっていただく

★平成29年2月2日（木）10:40-12:25に避難所運営の授業を公開します。是非ご参観下さい。
詳しくは本校HP「職業学科3校合同研究発表会」の二次案内および公開授業一覧をご覧下さい。





学年・教科等の学習 (H28年度)

教科	学習内容	学習の目的
社会	<ul style="list-style-type: none"> 「防災の日について」 「私の避難場所」 「地震から身を守ろう」 「台風・豪雨から身を守ろう」 「災害に備える」 「積乱雲・津波から身を守ろう」 「避難所生活を考える」 「避難所運営について」など 	<ul style="list-style-type: none"> 「防災の日」から「防災」「災害」「避難」とは何かを知る 京都市の広域避難場所・指定避難場所から自分の避難場所を知り、どういう経路で避難するかを考える 「自然災害」の影響と身を守るために方法を知る 災害時の「非常持ち出し袋」について考え、準備する 水害による避難所についての新聞記事から避難所生活について知り、生活者が困る点がどこかを知る 避難所運営について知り、必要な役割を知る
理科	・「地震が起きるのはどうして」	・熊本地震のニュース映像などを見て、地震のメカニズムを知る
数学	・「備蓄物資の数量計算」	・防災倉庫内の備蓄物品や各自が持ち寄った防災袋の中の飲料水や食料品を使って正確な数量計算や計量ができる
音楽	・「あすという日が」「花は咲く」	<ul style="list-style-type: none"> 歌が避難所で歌われるようになった経緯や、歌の作られた経緯を知り、歌声が元気を届けることを知る <p>※文化祭で学年合唱として発表した</p>
総合	<ul style="list-style-type: none"> 「防災倉庫には何が入っているか」 「避難所運営に向けた係別の役割」 「防災学習を振り返る」 <ul style="list-style-type: none"> 人権学習～「障害者や高齢者などを含む、あらゆる人の命を支える防災について学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の防災倉庫にある物品の中身の確認と数量点検をする 係ごとの仕事内容・各自の役割について考える 学習プログラムごとに毎回振り返りを行い、学習内容とその時の気づきを言語化する <ul style="list-style-type: none"> 国連防災世界会議（H27/3 仙台）で「インクルーシブ防災」が提案された。災害時、どうすれば高齢者や障害者などの命を守れるかが課題となっている。今年の4月からは障害者差別解消法の施行により、避難所運営でも合理的配慮の提供が求められている。熊本地震の際の避難所の映像（NHK「バリバラ」H28/4/18 放送）を見ながら、被災地の障害者・高齢者がどういった状況に置かれているか、どんな困りがあるのか現状を知り、避難所生活の中で障害者や高齢者などの困りをなくすにはどうしたらいいか、また、自分達はどんなことができるのかを考える
道徳	・「稻村の火」	・読み物資料を使用し、自他の命を尊重しようとする心情を育てる

宇多野学区総合防災訓練に参加しました (H28/11/23)



写真：左より宇多野学区自治連会長、右京区長、右京消防署長、右京消防団副団長、宇多野小学校長、鳴滝総合支援学校長



宇多野学区の住民260名の方々に交じって、防災プログラムを学んだ2年生の有志が役割を担いました。